

令和8年度「現代の国語」シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2
学級	1年 A～S 組	教材・副教材	精選現代の国語(第一学習社)、 未来をひらく常用漢字検定5級～2級(桐原書店)、 <B組のみ>読み解くための現代文単語(文英堂)		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを旨とする。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度		論理的な表現	論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 説得力を意識した話し合いをする。	振り返りシート グループワーク 授業ノート 小テスト 定期考査
	5	知識・技能 思考力・判断力・表現力		「本当の自分幻想」 中間考査	主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。	
	6	知識・技能 思考力・判断力・表現力		書き方の基礎レッスン	表記・表現の基本ルールを理解する。 接続表現・表現技法を理解する。	
	7	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度		「水の東西」 期末考査	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 筆者の考えに対する自分の考えを話し合う。	
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	知識・技能 思考力・判断力・表現力		ものとことば	具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。	振り返りシート グループワーク 授業ノート 小テスト 定期考査
	10	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度		話し方の工夫 中間考査	話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。	
	11	知識・技能 思考力・判断力・表現力 知識・技能 主体的に学習に取り組む態度		「生と死が創るもの」 「AIは哲学できるか」	三つのまとまりの関係性を捉えて内容を把握し、生命科学の観点から提示される「死」について考えを深める。 「論理の型」(推論)を学ぶ。	
	12	知識・技能 思考力・判断力・表現力		日本の労働問題にかかわる資料を読み比べる	労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて理解したことをまとめる。	

		期末考査				
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	知識・技能 思考力・判断力・表現力		「フェアな競争」	筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。	振り返りシート グループワーク 授業ノート 小テスト 定期考査
	2	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度		スピーチで自分を伝える	自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。	
	3	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度		「ロビンソンの人間と自然」	「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の主張を読み取る。	
				学年末考査		

令和 8年度 「言語文化」シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2
学級	1年A～S組	教材・副教材	精選言語文化(第一学習社) ダブルマスター古典文法+漢文句形(第一学習社)		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度	古文入門	古文を読むために1 児のそら寝	・文語のきまりを理解する。 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさ人間描写の巧みさを知る。	プリント グループワーク 音読練習 小テスト
	5			古文を読むために2 絵仏師良秀		
	6	知識・技能 思考力・判断力・表現力	漢文入門	漢文を読むために1 狐借虎威	・訓読のきまりを理解する。 ・返り点の使い方を習得する。 ・現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・動詞の活用の仕方を理解する。	プリント グループワーク 音読練習 小テスト
7	歌物語	古文を読むために3				
第2学期	9	知識・技能 思考力・判断力・表現力	歌物語	伊勢物語『芥川』	・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。	プリント グループワーク 音読練習 小テスト
10	中間考査					
第3学期	11	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	小説(一)	羅生門	・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	プリント グループワーク 発表 小テスト
	12			期末考査		
第3学期	1	知識・技能 思考力・判断力・表現力	小説(二) 漢詩	夢十夜	・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。	プリント グループワーク 音読練習 小テスト
2	漢詩のきまり					
3	唐詩の世界					
				学年末考査		

単位数	2	学科・学年・学級	地歴公民科・1年・A～S
教科書	高校生の地理総合	副教材	高校生の地理総合ノート

1 科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4～6月	指導要領A	地図や地理情報システムと現代世界	地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る。 地理情報システムの読み取りや作成を行う。 地球の姿や、緯度経度の差が及ぼす影響について探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
第2学期	9～10月	指導要領B-(1)	国際理解と国際協力～生活文化の多様性の基礎～	世界の人々の特色ある生活文化を基に、生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりすることを探究する。 主題を設定し、世界の人々の生活文化について、その環境や文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
	10月～12月	指導要領B-(2)	地球的課題と国際協力	世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを、共通性や課題相互の関連性などに着目し考察する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
第3学期	1月～2月	指導要領C-(1)	持続可能な地域づくりと私たち～自然環境と防災～	我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を探究する。 身の回りの災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて調査する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
	2月～3月	指導要領C-(2)	持続可能な地域づくりと私たち～生活圏の調査と地域の展望～	地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて学習する。 学習した地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などを基に、「防災」を軸にして生活圏の調査と地域の展望を考察する学習活動を行う。	ペーパーテスト 巡検シート パフォーマンス評価 振り返りシート

令和8年度 「数学Ⅰ」 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	3
学級	スポーツ科学科 1年次	教材・副教材	改訂版 最新 数学Ⅰ (数研出版) パラレルノート数学Ⅰ (数研出版)		

1 科目の目標

数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し、表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学の良さを認識し、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1章 数と式	1節 数と式	整式の加法・減法・乗法、2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業内発表 課題
	5		中間試験		
	6	第2章 集合と命題	2節 1次不等式	1次不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めたり1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。1次不等式の解法に習熟させ、大小に関する身近な問題の解決に活用できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業内発表 課題 定期考査
	7		集合と命題 期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第3章 2次関数	1節 2次関数とグラフ	2次関数のグラフの概形を平行移動の考え方を利用して描けるようにする。与えられた放物線のグラフからその2次関数を定められるようにする。2次関数のグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業内発表 課題 定期考査
	10		中間試験		
	11	第4章 図形と計量	2節 2次方程式と2次不等式	三角比の意味やその基本性質について理解し、三角比を用いた計量の有用性を認識し、活用する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業内発表 課題 定期考査
	12		1節 三角比 2節 正弦定理・余弦定理 期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第5章 データの分析	データの分析	四分位数、四分位範囲、四分位偏差、分散及び標準偏差などの用語を知り、意味を理解させるとともに、それらを利用してデータの傾向を的確にとらえ説明できるようにする。 散布図及び相関係数の意味を理解させるとともに、それらを利用してデータの相関を的確にとらえ説明できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業内発表 課題 定期考査
	2		学年末考査		
	3				

令和 8 年度 「科学と人間生活」 シラバス

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2 単位
学級	1 年 S 組	教材・副教材	科学と人間生活 新訂版 (実教出版) アクセスノート 科学と人間生活 (実教出版)		

1 科目の目標

自然に対する理解や科学技術が人間生活に与えた影響について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第 1 学期	4	1 章 科学と技術の発展	1 節 科学と技術の始まり	<ul style="list-style-type: none"> ・現代にいたるまで、科学や科学技術によっていかに発展してきたのかを理解し、科学技術に関する問題について考える。【思・判・表】【主】 ・海洋の研究・調査の話題を通して、科学の各分野がかかわっていること、科学の研究が私たちの生活にいかされていることを理解する。【知】【主】 ・農業には、生物や気象などさまざまな自然現象が関連しており、科学技術を利用することで農業が発展してきたことを理解する。【知】【主】 	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
	5		2 節 海とくに深海を科学の眼で見よう		
	5	3 章 生命の科学	1 節 ヒトの生命現象 1. ヒトの生命現象と DNA	<ul style="list-style-type: none"> ・DNA の構造や、遺伝子と DNA との関係について理解する。【知・技】【思・判・表】【主】 ・DNA の塩基配列からタンパク質がつくられる過程について理解する。【知】 ・ヒトの体内で働くタンパク質にはどのようなものがあるか考え、それらの働きについて調べる。【思・判・表】【主】 	
6	3 章 生命の科学	1 節 ヒトの生命現象	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症について知る。【知】【主】 ・免疫とリンパ球の働きについて理解する。【知】 ・抗原抗体反応の仕組みと特徴について理解する。【知】 ・アレルギー (免疫反応) やワクチン (予防接種) について調べ、仕組みや効果について考える。【思・判・表】【主】 	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査	
6		3. 抗体による生体防御のしくみ			
7	3 章 生命の科学	4. 視覚と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの眼の構造を理解する。【知・技】【思・判・表】【主】 ・眼の網膜で受容した光の刺激を脳で処理することで視覚が生じることを理解する。【知】 ・発酵や腐敗が微生物の働きによって起こることを知り、その仕組みを理解する。【知・技】【思・判・表】【主】 ・発酵食品の種類や医療への利用について理解する。【知】 ・人間の生活の中でも微生物を利用していることに気付き、生態系での微生物のはたらきについても理解する。【思・判・表】 		
7		2 節 微生物とその利用 1. いろいろな微生物 2. 微生物の利用 3. 生態系での微生物			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第 2 学期	9	5 章 宇宙や地球の科学	1 節 太陽と地球	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系とそれを構成する惑星についての知識を身につけ、地球と太陽系の運動について理解できる。【知】【思・判・表】 ・太陽の性質と太陽表面で起こっている現象について知る。【知】 ・太陽放射の熱収支について理解する。【知・技】【思・判・表】【主】 ・地球規模で発生している環境問題に関心を持つ。【主】 ・大気の水平方向の循環について把握し、高緯度から低緯度への熱の輸送が行われていること、毎日の天気の変化など日常生活と密接に関連していることが分かる。【知】【思・判・表】 	レポート課題 レポート発表 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
	10		1. 太陽系の天体と人間生活 2. 太陽の放射エネルギー 3. 太陽放射の熱収支について理解する。【知・技】【思・判・表】【主】		
	11	5 章 宇宙や地球の科学	2 節 自然景観と災害	<ul style="list-style-type: none"> ・地球内部のエネルギーの放出現象として、火山や地震に興味を持ち、原因・災害などについて探究的に調べようとする。【思・判・表】【主】 ・プレートの運動により、地震や火山、現在の大地形などが形成されていると考えることができる。【思・判・表】 ・地球内部の構造について認識できるとともに、地球表層や地球内部の運動について原理も含めて理解できる。【知】 ・自然災害の予測や防災について積極的に探究することができる。【主】 	
12	5 章 宇宙や地球の科学	2. 地球内部のエネルギー 3. さまざまな自然災害と防災 4. 自然の恵み		レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	2章 物質の科学	2節 食品と衣料 1. 衣食にかかわるさまざまな物質 2. 食品にかかわる物質	<ul style="list-style-type: none"> ・食品や衣料を構成する物質の多くが高分子化合物であることを知る。【知】 ・日常生活で身に付けている衣料にどのような繊維が使われているのか種類と用途を調べ、見分ける。【思・判・表】【主】 ・三大栄養素の体内への取り込まれ方について理解する。【知】 ・炭水化物の構造と種類を学び、体内への消化吸収の仕組みを理解する。【知】【思・判・表】 	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
	2			<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質が多数のアミノ酸分子が結合してできていることやタンパク質の性質について理解する。【知・技】【思・判・表】【主】 ・油脂の構造と性質について理解する。【知】 ・温度は物に関わる量であることを物体をつくる分子・原子の熱運動と結びつけて理解する。【知】 	
	3	4章 光や熱の科学	1節 熱の性質とその利用 1. 熱 2. 熱量とその保存 3. 熱の発生	<ul style="list-style-type: none"> ・熱は温度の異なる物体同士が接触したときに移動する量であると共に、熱平衡についても理解する。【知・技】【思・判・表】【主】 ・熱の移動形態に種類があることを気象と関連付けて理解する。【思・判・表】 	

令和 8 年度 保健体育 保健

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	1 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指して、主に、身に付けた技能や動き等をより高めたり、新たに得意技を身に付けたりして、攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルールを次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできる。また、運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けたり、一層その理解を深めたりすることができる。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己の課題に応じた運動の取り組み方を発展的にし、多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続するために、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要となる課題を解決することができる。</p>	<p>【観点の到達目標】 運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにするといった運動を継続することの意義などを理解し、各領域において練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組める。学習への責任や参画への意欲といったものを土台とし、仲間やチームに対して、役割を積極的に引き受けたり、話し合いを通して合意形成に貢献しようとするなど主体的に取り組むことができる。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。運動の技能を身に付けることについて、経験に基づく知恵などの暗黙知をも含め、一層その理解を深めたりするなど、知識と技能を関連させて言ったり書き出したりしている。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 選択した運動の中から、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することについて、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要な課題を見付けている。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保することができる。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から基準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	1, 私たちの健康の姿 2, 健康のとらえ方	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
5	3, 意思決定と行動選択 4, 健康に関する環境作り	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
6	5, 生活習慣病とその予防 6, 食事と健康	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・期末考査
7	7, 運動と健康		
9	8, 休養・睡眠と健康 9, 喫煙と健康	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
10	10, 飲酒と健康 11, 薬物乱用と健康	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
11	12, 現代の感染症 13, 感染症の予防	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・期末考査
12	14, 性感染症・エイズとその予防		
1	15, 欲求と適応機制 16, 心身の相関とストレス	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
2	17, ストレスへの対処 18, こころの健康と自己実現	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
3	19, 交通事故の現状と要因 20, 交通社会における運転者の責任と資質 21, 安全な交通社会づくり	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・学年末考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留めたりする」だけでなく, 積極的に 自分自身の生活を振り返り, 健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには, 学習した内容をもとに, 自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおけないよう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

授業チャイムと同時に始まりますので, 休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき, チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は, 友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツ I

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	1 年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の監察や動作の分析のしかたなどを理解する。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツ I」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力、判断力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 5月	陸上競技 短距離走・ルー 跳躍(走り幅跳 び)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分 析 行動観察
6月 から 7月	水泳 (クロール)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分 析 行動観察
8月 から 9月	体操競技 器械運動(マツ ト)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分 析 行動観察
10月 から 3月	陸上競技 長距離走	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分 析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・種目の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した、主体的・合理的・計画的の実践を通して、自己の課題を解決させることを目指します。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 8 年度 保健体育 スポーツⅡ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	1 年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。
--

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、泳法を習得する。競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 3月	単元名 バスケット	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本練習 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】【主】 ・バスケットボールのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボール操作やパスやドリブルの正しい動作を身につけること。【知・技】 ・レイアップシュートを左右正しく出来ることを身につけ、セットシュートを正しいフォームでおこなう知識を身につけておこなうようにする。【思・判・表】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【思・判・表】 ・1対1に必要なボールのもらい方を理解して、1対1の技能を身につけること。【知・技】 ・アウトナンバーの攻め方を身につけること。【知・技】 ・1対1から5対5までをオールコートで簡易ゲームをおこない、フロアバランスやスペース、シュートセレクトを考えながら、技能を身につけること。【思・判・表】 <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【思・判・表】 ・チームの作戦を立て、マンツーマンディフェンスとゾーンディフェンスのやり方を理解する。【知・技】 ・ルールを正しく理解し、公正・安全に試合を運営すること。【知・技】【主】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>
4月 から 3月	テニス	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・ボールの操作や安定した用具の使い方を身につけること。 (ストローク)フォアハンドストローク、バックハンドストロークともに相手側のコートのねらった場所に打ち返すこと。 (サービス)ボールをねらった場所に打つこと。【知・技】【思・判・表】【主】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【思・判・表】 ・ボールに変化をつけて、ねらった場所に打つこと(サービス、ストローク)。【知・技】 ・ボールを相手側のコートの開いた場所に緩急や高低をつけて打ち返すこと。【思・判・表】【知・技】 ・仲間と連動してネット付近でボールを打ち返したりすること。【主】【思・判・表】 <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【思・判・表】 ・チームの作戦に応じた隊形から、拾ったりつないだり打ち返したりすること。【思・判・表】 ・ルールを正しく理解し、公正・安全に試合を運営すること。【知・技】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

- ・種目の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した、主体的・合理的・計画的の実践を通して、自己の課題を解決させることを目指します。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育 スポーツⅢ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	1 年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成 することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。</p>	<p>【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p>	<p>【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、伝統的な 行動の仕方、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合ができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、武道の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力、判断力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 3月	柔道	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 <p>【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。</p> <p>【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト
4月 から 3月	剣道	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 <p>【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。</p> <p>【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト
4月 から 3月	ダンス	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 <p>【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。</p> <p>【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>・種目の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した、主体的・合理的・計画的の実践を通して、自己の課題を解決させることを目指します。</p> <p>・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。</p>
--

令和 8 年度 保健体育科 スポーツⅣ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科1年
教科書		副教材等	Active Sports(大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツⅣ」で取り上げるダンスは、イメージやリズムを捉えて一人一人の個性を生かした表現や作品をまとめて発表したり、伝承されてきた地域や風土などの背景や情景を思い浮かべて、仲間やパートナーと踊ったりすることを通して、身体を通して自由に自己を表現するとともに、心を解放して誰とでも楽しく交流するといった特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能を習得する。ダンスについての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスについて、作品の創作、踊り方、リズムの特徴などに関する名称や用語、それぞれのダンスには多様な表現につながる重要な動きや空間の使い方などのポイントがあることなどを理解すること。 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して音楽に合わせて前進で自由に踊ったり、変化やまとまりをつけて仲間と対応したりして踊ること。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスに関する運動のおこない方、仲間と教えるなどの活動のしかた、健康・安全の確保のしかた、運動の継続のしかたのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて、運動を継続するために、知識を新たな学習場面で適用したり、応用したりすること。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなど、健康・安全を確保することができるようにすること。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 9月	創作ダンス	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲する。 作品の展開や公正を工夫して発表する。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表された作品に対して、適切な評価を行う。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲、作品の展開や公正を工夫して発表できるようにする。グループで工夫してダンスを楽しみながら交流する。 	<p>行動観察</p> <p>ワークシート分析</p> <p>スキルテスト</p>
10月 から 12月	現代的なリズムのダンス	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのグループで1つの作品をつくり発表し、お互いに評価する。【知・技】 ヒップホップなどの現代的なリズムに合わせて、リズムの取り方や身体の動かし方を工夫して、協力してダンスをつくりあげ発表する。【思・判・表】 現代的なリズムに乗って、グループで工夫をして踊りを楽しみながら交流する。【主】 	<p>行動観察</p> <p>ワークシート分析</p> <p>スキルテスト</p>

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツV

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科1年
教科書		副教材等	Active Sports(大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツV」で取り上げる野外の運動は、主として校外学習として自然環境の中で行われる体験的活動である。野外の運動は、日常生活の場から離れた大自然の中で、環境に配慮した組織的な集団活動などを通して、自然の障害や困難に対して相互に協力して対処しながら、冒険的な活動をしたり、競技を行ったりする特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自然体験型野外活動においては、その特性に応じた活動ができる。競技型野外活動においては、その特性に応じた技能を高める。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できる。	【観点の到達目標】 取り組む活動の名称や用語、技術とその高め方、体力の高め方、課題可決の方法、活動プログラムの企画・運営のしかた、初歩的な指導法、動作分析のしかたなどを理解する。
【イチカシ学カスタンダード】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツV」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を組み立て、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標修正や練習計画の組み立てなどができている。	【イチカシ学カスタンダード】 取り組む活動の名称や用語、技術とその高め方、体力の高め方、課題可決の方法、活動プログラムの企画・運営のしかた、初歩的な指導法、動作分析のしかたなどを理解している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせさせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
1 学期	野外活動 I 【キャンプ】 ○事前学習 ・キャンプ概論 テントの設営 テントの点検 飯盒炊爨	【知・技】 ・安定したテントの張り方を学び、テントの各部分の名称と付属品お名前を理解する。 ・各班でメソウの企画、練習を行い、仲間と協力できる資質や態度を身につける。 ・登山の意義や目的を学び、自然を愛する態度を身につける。 【思・判・表】 ・キャンプ実習に向けての事前学習に取り組む。 ・実習の意義や目的を学び、自然の中で生活する能力や態度を育成する。	行動観察 ワークシート分析

	調理器具の点検 ・キャンプファイヤー 運営について ・スタッフについて ・登山について	【主】 ・食事の献立を各班で作成し、仲間と協力して準備する態度を養う。 ・キャンプファイヤーの意義や目的を学び、協力して運営する態度を養う。	
2 学 期	【キャンプ実習】 実習1 テント設営 実習2 飯盒炊爨 実習3 登山 実習4 キャンプファイヤー 【事後学習】 用具の掃除 消耗品などの点検	【知・技】 ・自然環境の中での生活の規則に従って、共同生活を行うために必要な知識と技術を身につける。・次回使用するための準備を行うこと。早期点検の大切さを身につける。 【思・判・表】 ・登山では、平地を歩くことから始まり、山道を登り詰めて頂上に立つ過程の中で、身体的、精神的な達成感を養う。 【主】 ・キャンプファイヤーでは、協力して運営することで仲間のすばらしさに気付く態度を養う。	ワークシート分析 行動観察
	野外活動Ⅱ 【スキー】 ○事前学習 ・スキー概論 ①スキーの歴史 ②スキーの体系 ③スキーの用具 ④スキーの技術	【知・技】 ・スキー実習に向けての事前学習に取り組む。 スキーの歴史を理解する。 スキーの体系について学び、様々な分類に分かれていることを理解する。 スキーの用具について学び、時代に即した用具があることを理解する。 スキー技術の用語を理解する。 【主】【思・判・表】 ・実習の意義や目的を学び、自然の中で生活する能力や態度を育成する。	ワークシート分析 行動観察
3 学 期	野外活動Ⅱ 【スキー】 【スキー実習】 基本的学習 板の運び方 板をつけての 体操 実習① (安全面の知識・理解) 板慣れ、歩行、転び方、起き上 がり方、リフトの乗り降りのし かた 実習② (基本的な技能の習得) 速さの制御、止まり方 実習③ (基本的な技能の習得) 速さの制御、曲がり方	【知・技】【主】 ・板の危険性について理解し、安全に扱うための方法を身につける。 ・板を装着することで、動きが制限されることを理解する。 ・スキーは、自然環境の中、特に雪山での活動になるため、安全に活動するために必要な知識と技術を身につける。 【思・判・表】 また、山の天候は急変することが多く、その日一日のなかでも大きく変化することがあります。様々な状況に対応できる技術や判断力を養う。	ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>(アドバイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。 <p>(守ってほしい事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。 ・授業はチャイムと同時に始まります、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること) ・貴重品の管理をしっかり行うこと。
--

令和 8 年度 保健体育科 スポーツVI

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科1年
教科書		副教材等	Active Sports(大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツVI」で取り上げる体づくり運動は、運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができるといった特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 体づくり運動について、個人や対人及び集団で取り組む各種の技や技能を習得する。体づくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のみかた、課題解決の方法などを理解している。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・体づくりの運動について、個人で取り組む運動の他に、ペアで行うもの、集団で取り組むものなどの運動について、正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体力を高める運動について、①大きな力を発揮する②スピーディな動き③動きを持続する④体の柔らかさを高める⑤動きの巧みさを高める⑥総合的に体力を高める、などの動きを正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体づくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のみかた、課題解決の方法などを理解する。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツVI」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や運動の組み立て方ができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにすること。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 か ら 12 月	ガイダンス ア 体ほぐし運動 イ 体力を高める運動"	【知・技】 ・「体づくり運動」学習の意義や内容、評価の方法を理解すること。 【思・判・表】 ・ペアストレッチングを行い、相手の体に気を配りながら身体各部の筋肉を伸ばす。 ・総合的なトレーニングの方法を理解し、実践することで筋力や持久力を高める。 ・エアロバイク等の利用方法を理解し、実践することで持久力を高める。 【主】 ・トレーニング場の利用方法や器具の正しい使用方法を身につけ、体力の向上を図る。	行動観察 ワークシート分析 スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツ概論 I

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	スポーツ科学科 1 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)

2 科目の目標

<p>1. 体育・スポーツに関する知識を学ぶ。</p> <p>2. 運動の合理的な実践及び健康の増進と体力の向上に活用することができる資質や能力を育てる。</p> <p>3. コンピュータを使って体育・スポーツに関する情報を処理できるようにする。</p>

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】</p> <p>健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】</p> <p>個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。</p>	<p>【観点の到達目標】</p> <p>個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】</p> <p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】</p> <p>生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。</p> <p>また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】</p> <p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	【スポーツ概論】 1. スポーツの歴史・文化的特性と現代の特徴 ① スポーツの歴史的発展と変化 ② スポーツの技術、戦術、ルールの変化 ③ スポーツの経済的波及効果とスポーツ産業	【知・技】 体育・スポーツに関する正しい知識を身につけている。スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて変化してきていることを学ぶ。 【思・判・表】 学習や資料・体験などや他の人の意見を聞いて課題設定や解決方法を考え、判断している。スポーツの技術や戦術、ルールは用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを学ぶ。 【主】 体育・スポーツに関して関心を持っている。現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることを学ぶ。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
9 ～ 12	【スポーツ概論】 2. スポーツの効果的な学習の仕方 ① スポーツにおける技術と技能 ② スポーツの技能の上達過程 ③ スポーツの技能と体力の関係 ④ スポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方	【知・技】 体育・スポーツに関する正しい知識を身につけている。スポーツの技能の上達過程には段階があり、その段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法があることを学ぶ。スポーツの技能と体力は相互に関係していることを学ぶ。 【思・判・表】 学習や資料・体験などや他の人の意見を聞いて課題設定や解決方法を考え、判断している。スポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになることを学ぶ。 【主】 体育・スポーツに関して関心を持っている。スポーツをおこなう際には、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることを学ぶ。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
1 ～ 3	【スポーツ概論】 3. 豊かなスポーツライフの設計 ① 各ライフステージにおける多様な楽しみ方 ② ライフステージに応じたスポーツとのかかわり方	【知・技】 ・スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた楽しみ方があることを学ぶ。 【思・判・表】 ・生涯にわたってスポーツを継続するには、自己に適したスポーツの機会を持つこと、施設などを活用して活動の場を持つことが必要であることを学ぶ。 【主】 体育・スポーツに関して関心を持っている。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始まりますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツ総合演習

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科 2 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)

2 科目の目標

スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。</p>	<p>【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	【スポーツ概論】 1. スポーツについて考えよう ① スポーツの魅力について考えよう ② スポーツのこれからとこれまでを考えよう ③ 現代スポーツの問題点	【知・技】スポーツの専門的な実践に関する具体的な事項及びスポーツの振興発展に寄与するための理論について理解している。 【思・判・表】生涯を通してスポーツの振興発展に寄与することを目指して、各科目の課題に応じた運動や学習の取り組み方、健やかな心身の高め方や維持の仕方を工夫している。 【主】スポーツ文化を尊重し、主体的、合理的、計画的に、各科目の学習に取り組もうとする。	【知・技】 定期調査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
9 ～ 12	【スポーツ概論】 2. スポーツの競技力を向上させよう ① 競技力向上に必要な基礎知識を知ろう ② 競技力を向上させる練習方法・練習計画を知ろう	【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	【知・技】 定期調査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
1 ～ 3	【スポーツ概論】 3. 専門種目における体づくり運動について ① 体づくり運動の実践 ② まとめ	【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	【知・技】 定期調査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始まりますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 8 年度 体育科 専攻実技

1 科目について

単位数	スポ科・2単位 普通科体育コ・1単位	学科・学年	スポーツ科学科 1～3 年次 普通科体育コース 2・3年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

球技の特性や測定競技の特性、また武道等の特性について、理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 ～ 7月	専攻実技 【野球】 【サッカー】 【バスケットボール】 【バレーボール】 【陸上競技】 (長距離) 【柔道】	【知・技】学習の意義や内容、評価の方法について理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技(長距離)、柔道、剣道の各種目より、各自が専攻している競技(種目)に取り組む。 【主】基礎体力及び柔軟性を高めること。・チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9月 ～ 12月	【剣道】 【その他の種目】 ・ガイダンス ・基本練習 ・応用練習	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】各競技における基礎技術を習得する。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1月 ～ 3月	・総合練習 ・コンディショニング	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 基礎体力及び柔軟性を高めること。 【思・判・表】総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。 総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。 技術力向上に必要な基礎技術を理解し、不足している技術を各自でドリル化し、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>(アドバイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。 <p>(守ってほしい事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。 ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること) ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。
--

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 1年次		学
教科書	工芸 I 日本文教出版	副教材等			

1 科目の目標

工芸の意味を理解し、生活の中のデザイン、手仕事への関心を高める。
デザインの発想力と表現力の向上。技術の向上。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	・手描き染めによる手拭	・モチーフを観察し、細密描写する	・こちらで用意した、モチーフを選びデザイン、細密描写していく。	・よく観察していたか。
	5				
	6		・それをもとにデザイン化したり、構成したりする。	・デザイン化した、絵を手拭いに構成しながら布描きペンで描いていく。 ・彩色ペンで彩色していく。	・構成、彩色は考えられていたか。きれいににじまず彩色できたか。
	7				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	・真鍮によるオーナメント	・真鍮をきり、磨き、オーナメントを制作する。	・4mmの真鍮板を自分の作りたい形に糸鋸を使って切る。 ・鑢を使って形を整える。	・糸鋸は上手く使えたか。
	10				
	11				
	12			・耐水ペーパーで、＃240～＃1500まで磨きひからせる	・鑢、耐水ペーパーで綺麗に磨けたか。
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期		・革パステース	・革によるパステース制作	・革に、刻印を打ち（デザインし）彩色して、縫うための穴をあけレース糸で編んでいく。	・デザイン、刻印の打ち方、染め方、編み方を評価の対象とする。

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科・1年次
教科書	高校生の音楽1 (教育芸術社)	副教材	

1 科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	ガイダンス 音楽ってなんだろう	音楽史	教材「音楽ってなんだろう」 ・音楽について考える ・音楽の起源を探る ・音楽の目的と価値を考える	・学習プリント
		校歌を学ぶ 世界を変えていく力	歌唱表現	教材「校歌」 ・校歌の歌詞を理解する 教材「We are the World」 ・曲の文化的・歴史的背景を探る	・学習プリント ・歌唱実技テスト
	6 7	音楽の役割 音名と読譜	器楽演奏(ハンドベル) 楽典	教材「四季の歌」 ・音楽の役割を知る ・ハンドベルの奏法、演奏 教材 学習プリント ・読譜のスキル習得	・学習プリント ・器楽実技テスト ・読譜テスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	イタリア語歌曲	歌唱表現	教材「カロミオベン」 ・イタリア歌曲の特徴	・歌唱実技テスト
		世界の歌 音楽の効果	器楽演奏(ハンドベル) 鑑賞・創作	教材「オーシャンゼリゼ」 ・正確なリズムを身につける 教材 学習プリント ・音楽を形作っている要素を理解し、働きを考える ・表現の意図を捉え、情景にあった楽曲を見つけ出す ・根拠をもって説明する	・器楽実技テスト ・学習プリント ・プレゼンテーション
	11 12	音楽の力	鑑賞	教材「交響曲第9番」 ・曲の構成を理解する ・作曲者の思いを感じ取る ・現代における価値を知る	・学習プリント

		5線記譜法	楽典	教材 学習プリント ・5線記譜法の習得 ・聴音の習得	・3学期筆記テスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	日本の歌	歌唱表現	教材「荒城の月」 ・日本語の美しい発音や歌い方を知る ・日本語の表現 ・楽曲にあった歌唱方法 ・情景理解、歴史的背景理解	・歌唱実技テスト ・学習プリント
	2			リズムアンサンブル	
	3	5線記譜法	楽曲		聴音課題
		物語と音楽の関わり	鑑賞	教材「魔法使いの弟子」 ・詩と音楽要素の関わり ・情景理解	学習プリント

令和8年度 芸術科 「美術Ⅰ」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	1年次
教科書	光村図書 美術1	副教材	

1 科目の目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な時点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション	美術って何のために学ぶの？	・美術を学ぶ意義を理解したうえで、今後の授業でどのように取り組んでいくかや、大切にしていきたいことを考える。	ワークシート
	5	絵画/表現 立体/表現	混色演習 絵の具について 立体表現	・パレットや絵筆の使い方、絵の具の性質について理解する。 ・三原色を混色し、色相環をつくる。 ・色の三属性について理解する。 ・混色することで色の幅が広がることを理解する。 ・よく見たり、触ったりすることで観察する大切さを理解する。 ・筆の動かし方や絵の具の濃淡の違い、モダンテクニックを活用することによって表現方法の幅が広がることを理解する。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
	6 7	絵画/表現 絵画/鑑賞	参考作品の鑑賞 主題決め アイデアスケッチ 水彩絵の具を使った表現 コラージュを使った表現 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・テーマに合わせて主題を決める。 ・構図や色の計画、全体の構想を練る。 ・水彩絵の具で着彩する。 ・コラージュで動物を制作し、貼り合わせる。 ・作品の鑑賞会を行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	立体/表現 立体/鑑賞	参考作品の鑑賞 主題決め アイデアスケッチ 石粉粘土について 骨格作り 塑像 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・テーマに合わせて主題を決める。 ・構造や色の計画、全体の構想を練る。 ・石粉粘土の特性を理解する。 ・針金で骨格をつくる。 ・石粉粘土で塑像する。 ・作品の鑑賞会を行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
	10 11				

	1 2	デザイン /鑑賞 デザイン /表現	デザイナーのプレゼンの鑑賞 プロダクトデザインの鑑賞 プレゼン資料の制作 プレゼン会	<ul style="list-style-type: none"> ・グッドデザイン賞のプレゼン動画を鑑賞する。 ・プロダクトデザインの鑑賞をする。 ・自分が選んだデザインのプレゼン資料を制作する。 ・プレゼン会を行う。 	ワークシート プレゼン資料 振り返りシート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	絵画 /鑑賞 絵画 /表現 絵画 /鑑賞	ゲルニカの鑑賞 作品の鑑賞 なりきる画家決め 材料・用具の選択 鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲルニカを対話型鑑賞する。 ・自分なりのゲルニカの解釈を発表する。 ・ゲルニカやピカソについて調べる。 ・画集を鑑賞する。 ・なりきる画家を一人選ぶ。 ・選んだ画家になりきって作品を制作する。材料や用具を選ぶ。 ・作品の鑑賞会を行う。 	ワークシート 振り返りシート ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
	2 3	絵画 /表現 絵画 /鑑賞	参考作品の鑑賞 主題決め メディウムについて 制作 鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品を鑑賞する。 ・テーマに合わせて主題を決める。 ・メディウムやペインティングナイフの特性を理解する。 ・アクリル絵の具とメディウムを活用し、制作する。 ・作品の鑑賞会を行う。 	作品 振り返りシート まとめレポート

令和 8 年度 芸術科 「書道Ⅰ」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	第1学年
教科書	書道Ⅰ（東京書籍）	副教材	

1 科目の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	書写から書道へ	書的美を楽しむ 書道史地図 書写で学んできたこと 書道で学ぶこと 用具・用材 姿勢・執筆法	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校書道で学習することについて、確認する。 ・臨書の意味や方法を理解する。 ・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 ・基本の姿勢、執筆法、後かたづけについて、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	5	漢字の書 〈楷書〉	漢字の成立と変遷 拓本 〈楷書〉 楷書の特徴 表現を比べよう 「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「自書告身」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の成立と変遷について理解する。 ・拓本の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。 ・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 ・「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、それぞれの文字から受ける印象について考える。 ・楷書の古典を臨書する意義について理解する。 ※「人物と時代」なども活用する。 ・楷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 	
	6 7	〈行書〉	行書の特徴 コラム 王羲之 「蘭亭序(神龍半印本)」 「争坐位文稿」 「風信帖(第一通)」 コラム 三筆から三跡へ	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。 ・行書の特徴を理解する。 ・行書の古典を臨書する意義について理解する。 ※「人物と時代」なども活用する。 ・行書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 ・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 ※「字形と筆順」なども活用する。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	仮名の書	仮名の成立 仮名を書く準備	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と変遷について理解する。 ・仮名の用具・用材の特徴について理解する。 ・仮名の基本的な線について理解し、練習 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品

	10	平仮名の単体 変体仮名 連綿 「蓬萊切」 「高野切第三種」 「関戸本古今和歌集」 全体構成 参考 三色紙の散らし書き	する。 ・平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。 ・変体仮名について理解し、練習する。 ・連綿について理解し、練習する ・平安時代の代表的な古筆を臨書する意義について理解する。 ※「人物と時代」なども活用する。 ・古筆を鑑賞し、その美について理解する。 ・古筆の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 ・行書きの構成について理解し、練習する。 ・散らし書きの構成について理解し、練習する。 三色紙について鑑賞し、それぞれの特徴について理解する。		
	11	漢字の書	創作 古筆を生かそう 鑑賞 書の美や風趣を味わおう	・創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古筆の特徴や技法を生かして、行を構成し、創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。 ・古筆の形態の違いについて理解する。	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	12		創作 古典を生かそう 鑑賞 書の美や風趣を味わおう	・創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書の 変遷 表現を比べよう 線、具・用材による表現 古典を生かした表現 紙面構成	・漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。 ・古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解する。 ・文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけられることを理解する。	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	2		創作 言葉と書を調和させよう	・創作の手順に従い意図に基づいて創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。	
	3	篆刻・刻字	篆刻と落款 創作 落款印を刻そう 鑑賞 篆刻の美や風趣を味わおう	・落款の意味や種類について理解する。 ・篆刻の用具・用材や落款印の手順について理解する。 ・篆刻の作品を鑑賞する。	

令和8年度 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

単位数	単位	学科・学年・学級	スポーツ科学科 1年 S組
教科書	Landmark FIT Ⅰ (KEIRINKAN出版)	副教材等	Landmark Fit 1 Workbook (啓林館) Pocket Speaking (啓林館) Factbook English Grammar (桐原書店) チャンクで英会話 (三省堂)

1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと・読むこと・話すこと〔やり取り〕・話すこと〔発表〕・書くことの5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画											
月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	(聞くこと) 高校生活でやってみたいことについての発表を聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 (読むこと) 高校生活に向けた目標設定についての文章を読んで、必要な情報を読み取り、要点を捉える。また、文章を通して、進行形・受動態の意味や働きを理解する。 (話すこと〔やり取り〕) 相手や自分が高校生活でやってみたいことについて、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。 (話すこと〔発表〕) 高校生活でやってみたいことについて、グループやクラスで話して伝える。 (書くこと) 高校生活でやってみたいことについて、文章に書いて伝える。	Lesson 1 Enjoy Your Journey	発音する、読解する、意見を交換する	知					○	3	定期テスト、授業内の取り組み
				思		○					
5	(聞くこと) お勧めの飲食店の紹介を聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 (読むこと) カレーの伝播の歴史についての文章を読んで、必要な情報を読み取り、要点を捉える。また、文章を通して、動名詞・現在完了形の意味や働きを理解する。 (話すこと〔やり取り〕) 相手や自分が勧めの飲食店について、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。 (話すこと〔発表〕) 自分が勧めの飲食店をグループやクラスで話して伝える。 (書くこと) 自分が勧めの飲食店を文章に書いて伝える。	Lesson 2 Curry Travels around the World	発音する、読解する、意見を交換する	知					○	3	定期テスト、授業内の取り組み
				思		○					
中間 考 査	中間考査 単語、文法、内容把握、初見問題 (長文中心)			知						0	
6	(聞くこと) 制服についてのディスカッションを聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 (読むこと) 日本と海外の制服事情についての文章を読んで、必要な情報を読み取り、要点を捉える。また、文章を通して、不定詞の意味や働きを理解する。 (話すこと〔やり取り〕) 制服の是非について、自分の考えや気持ちを感じて伝え合う。 (話すこと〔発表〕) 制服の是非について、グループやクラスで自分の考えを相手に話して伝える。 (書くこと) 制服の是非について、自分の考えを文章に書いて伝える。	Lesson 3 What Do You Wear to School	発音する、読解する、意見を交換する	知					○	3	定期テスト、授業内の取り組み
				思		○					
7	(聞くこと) 日本の世界遺産の紹介を聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 (読むこと) 屋久島エコツアーに関する文章を読んで、必要な情報を読み取り、要点を捉える。また、文章を通して、分詞の後置修飾・現在完了進行形の意味や働きを理解する。 (話すこと〔やり取り〕) 相手や自分が紹介した日本の世界遺産について、疑問点や自分の考えを伝え合う。 (話すこと〔発表〕) 自分が紹介したい日本の世界遺産について、グループやクラスで話して伝える。 (書くこと) 自分が紹介したい日本の世界遺産について、文章に書いて伝える。	Lesson 4 Eco-tour on Yakushima	発音する、読解する、意見を交換する	知					○	3	定期テスト、授業内の取り組み
				思		○					
期 末 考 査	期末考査 単語、文法、内容把握、初見問題 (長文中心)			知						0	

第2学期学習指導計画											
月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
9	(聞くこと) 自分がよくするジェスチャーについての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 (読むこと) 非言語コミュニケーションについての文章を読んで、必要な情報を読み取り、要点を捉える。また、文章を通して、関係代名詞の意味や働きを理解する。 (話すこと〔やり取り〕) 相手や自分がよくするジェスチャーについて、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。 (話すこと〔発表〕) 自分がよくするジェスチャーについて、グループやクラスで話して伝える。 (書くこと) 自分がよくするジェスチャーについて、文章に書いて伝える。	Lesson 5 Communication without Words	発音する、読解する、意見を交換する	知					○	3	定期テスト、授業内の取り組み
				思		○					
	(聞くこと) 犬・猫の殺処分についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 (読むこと) 日本初のセラピー犬チロリの生涯についての文章を読んで、必要な情報を読み取り、要点を捉える。また、過去完了	Lesson 6	発音する、読解する、意見を交換する	知					○	3	定期テスト、授業内の取り組み

10	<p>読んで、必要な情報を取り取り、要点を捉える。次に、題名や形・比較級・最上級の意味や働きを理解する。</p> <p>(話すこと [やり取り]) 犬・猫の殺処分についての相手や自分の意見について、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。</p> <p>(話すこと [発表]) 犬・猫の殺処分について、グループやクラスで自分の考えを話して伝える。</p> <p>(書くこと) 犬・猫の殺処分について、自分の考えを文章に書いて伝える。</p>	Chirori the Therapy Dog		<p>知 〇</p> <p>思</p> <p>態</p>	0
中間 考査	中間考査 単語、文法、内容把握、初見問題 (長文中心)			<p>知</p> <p>思</p> <p>態</p>	0
11	<p>(聞くこと) 田口愛さんへのインタビューを聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。</p> <p>(読むこと) 日本人女性が一人で起こす革命についての文章を読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。また、文章を通して、関係副詞の意味や働きを理解する。</p> <p>(話すこと [やり取り]) 友だちにインタビューして必要な情報を得る。</p> <p>(話すこと [発表]) インタビューした友だちについて、グループやクラスで話して伝える。</p> <p>(書くこと) インタビューした友だちについて、文章に書いて伝える。</p>	Lesson 7 Cacao Revoluti on	発音する、読解する、意見を交換する	<p>知</p> <p>思 〇</p> <p>態</p>	3
12	<p>(聞くこと) ネット友だちについてのメッセージを聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。</p> <p>(読むこと) 仮想世界で人生を生きたゲーマーについての文章を読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。また、文章を通して、SVO+to不定詞・SVO+動詞の原形の意味や働きを理解する。</p> <p>(話すこと [やり取り]) ネット友だちについての相手や自分の意見について、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。</p> <p>(話すこと [発表]) ネット友だちについて、グループやクラスで自分の考えを話して伝える。</p> <p>(書くこと) ネット友だちについて、自分の考えを文章に書いて伝える。</p>	Lesson 8 The Secret Life of a Gamer	発音する、読解する、意見を交換する	<p>知</p> <p>思 〇</p> <p>態</p>	3
期末 考査	期末考査 単語、文法、内容把握、初見問題 (長文中心)			<p>知</p> <p>思</p> <p>態</p>	0

第3学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
				知	思	態	開	読		
1	<p>(聞くこと) 月と地球のどちらに住みたいかについてのディスカッションを聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。</p> <p>(読むこと) 月の不思議と今後の開発計画についての文章を読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。また、文章を通して、仮定法過去・関係代名詞の非限定用法・仮定法過去完了の意や働きを理解する。</p> <p>(話すこと [やり取り]) 月と地球のどちらに住みたいかについての相手や自分の意見について、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。</p> <p>(話すこと [発表]) 月と地球のどちらに住みたいかについて、グループやクラスで自分の考えを話して伝える。</p> <p>(書くこと) 月と地球のどちらに住みたいかについて、自分の考えを文章に書いて伝える。</p>	Lesson 9 The Moon	発音する、読解する、意見を交換する	<p>知</p> <p>思 〇</p> <p>態</p>	3	定期テスト、授業内の取り組み				
2	<p>(聞くこと) 本文を読んでよかったと思う場面についてのディスカッションを聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。</p> <p>(読むこと) トルコ船の事故に始まる日本とトルコの友情についての文章を読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。</p> <p>(話すこと [やり取り]) 本文を読んでよかったと思う場面についての相手や自分の意見について、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。</p> <p>(話すこと [発表]) 本文を読んでよかったと思う場面について、グループやクラスで自分の考えを話して伝える。</p> <p>(書くこと) 本文を読んでよかったと思う場面について、自分の考えを文章に書いて伝える。</p>	Lesson 10 Friendsh ip over Time	発音する、読解する、意見を交換する	<p>知</p> <p>思 〇</p> <p>態</p>	3	定期テスト、授業内の取り組み				
3	<p>(読むこと) アメリカで出会ったアユコとトニーの恋愛模様を読んで、要点を把握する。</p> <p>(話すこと [やり取り]) アユコの最後のセリフに込められた意味について、自分の考えを話して伝え合う。</p>	Reading One Autumn Date	発音する、読解する、意見を交換する	<p>知</p> <p>思 〇</p> <p>態</p>	3	定期テスト、授業内の取り組み				
学 年 末 考 査	学年末考査 単語、文法、内容把握、初見問題 (長文中心)			<p>知</p> <p>思</p> <p>態</p>	0					

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について話された文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。</p>
思考・判断・表現	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えていく。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いていく。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞くようとしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読むようとしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。</p>

評価の方法

a. 活動観察 / b. パフォーマンステスト / c. 課題の提出 / d. ペーパーテスト

<p>担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)</p>	<p>英単語・ペアワーク・グループアクティビティを通して、積極的に他の生徒たちと協働し、英語力を伸ばしていきましょう。</p>
--	---

令和8年度 情報科「情報I」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	全学科・1 年次
教科書	情報 I step Forward! (東京書籍)	副教材	情報 I 学習ノート(東京書籍)

1 科目の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付け、実際に活用する力を養うことを目標とする

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1章 情報社会	・情報とメディア ・知的財産権 ・情報モラル	・情報やメディアの特性について知り、理解する。 ・問題を発見・解決するための共通する手順や方法を学習する。 ・問題を解決するために情報技術や様々な発想法を理解する。 ・Word、PowerPoint を使った実技課題への取り組み	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
	5				
第1学期	6	2章 情報デザイン	・メディアと文化の発展 ・ネットコミュニケーション ・情報デザイン	・メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について学習する。 ・情報を分かりやすく伝えるための情報デザインを理解する。 ・ユニバーサルデザインについて学び、主体的に考える。	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
	7				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	2章 情報デザイン	・情報のデジタル化 ・基数変換 ・データの圧縮	・アナログデータとデジタルデータの違いを理解する。 ・コンピュータ内部での数値・文字・記号などの表現の仕組みを理解する。 ・デジタルデータのプラス面とマイナス面について、両面から理解する	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
	10				
第2学期	11	3章 プログラミング	・コンピュータの構成 ・処理の仕組み	・コンピュータの基本構成と五大装置について理解する。 ・基本論理回路について学び、仕組みを理解する。問題解決の手順を考え、表現する。 ・Excel を使った実技課題への取り組み	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	3章 プログラミング 4章 ネットワークの活用	・インターネットの仕組み ・ネットワークの活用 ・論理回路 ・プログラミング	・情報通信ネットワークの理解とその利用について考える。 ・情報化の進化に伴う暮らしや社会の変化について考える。 ・アルゴリズムやプログラミングに関する課題への取り組み	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
	2				
	3				